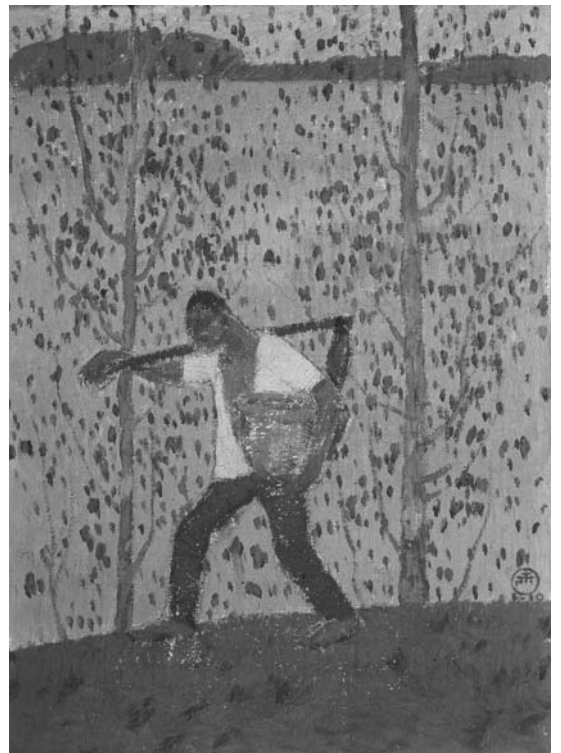


展覧会 「出会いの美術」

美術館では、所蔵作品を中心に、さまざまな作家や表現方法による作品を集めて展示しています。今回は、訪れた方が自らの感性に合った作品と出会える機会を提供するため、展覧会「出会いの美術」を開催します。

会場には、絵に親しむためのちょっとしたヒントをまとめたパンフレットを用意していますので、この機会にぜひ、絵画鑑賞をお楽しみください。

会 期：1月26日(土)～3月23日(日)
開館時間：午前9時30分～午後5時
※入館は午後4時30分まで
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)
入 館 料：一般…700(300)円 大学・高校生…500(200)円
小・中学生…300(100)円
※()内は市民割引券を利用した際の料金



小杉未醒「農夫」
1912(大正元)年頃 油彩・カンヴァス 33.0cm×24.0cm
小杉放菴記念日光美術館所蔵
※未醒は、放菴の前に使っていた画号です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

世界でもっとも愛された作家

古今東西の作家の中で、人々から最も愛されたのは誰だったのでしょうか？
「愛された」の基準を本の売り上げとするならば、それはイギリスの推理作家アガサ・クリステイということになります

(「ギネス世界記録2007」(ポプラ社)による)。
クリステイは「ミステリーの女王」と呼ばれ、推理小説の傑作をたくさん発表しました。

エルキュール・ポアロやミス・マープルといった名探偵が登場する作品は、これまでもたくさん映像化されているので、ご覧になった方も多いでしょう。今回は、そんな作品の中から、クリステイ自身がお気に入りとして選んだ10の作品を紹介します。
「そして誰もいなくなつ

本を楽しむコラム

図書館へ行こう!



「た」：読んだことはなくても題名は聞いたことがあるでしょう。物語の最後では本当に誰もいなくなつてしまつて…!?
「アクロイド殺し」：発表された当時、トリックが公平かどうかで大論争が巻き起こりました。

「オリエント急行の殺人」：映画をご覧になった方も多しと思えますが、誰が犯人かを知って驚かない人は少ないはずですよ。

「予告殺人」
「火曜クラブ」
「ゼロ時間へ」
「ねじれた家」
「無実はさいなむ」
「終りなき夜に

生れつく」
「動く指」
クリステイは、ほかにもたくさん作品を発表し、いろいろなトリックで人々を驚かせ続けました。あなたもクリステイの作品を読んで、登場する名探偵たちに挑戦してみませんか。